（大正十二年十一月八日第三種郵便物認可）　昭和十二年六月十五日　常磐毎日新聞　〔火曜日〕　第三千九百四十三號　〔一〕

常磐毎日新聞
六月十四日　夕刊
日刊
定價　一部金貳錢　一ヶ月金拾錢　郵税共
廣告料　普通一行五拾錢　場所指定一行七拾錢
發行者　磐城郡入間町大字　坂本　忠　他
日曜祝祭日の翌日休刊
發行所　常磐毎日新聞社
電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座　東京　四〇二〇番）

天氣豫報

今晩は北東の風
小雨模様
明日も北東の風
小雨模様

海軍御用達の假面
實は稀代の大詐欺師
銀行員の眼を晦まして
二重賣りの惡どい儲け
銅鐵商江尻七三郎の罪狀

平市鍛冶町銅鐵商吳市藏元通り生れ江尻七三郎(四七)は十三日突如平署に召喚、本田司法主任係で取調が開始された、江尻は昨年末大阪地方で詐欺ゴロをしてゐたがたま〳〵常磐地方きつての古鐵商山田文一商店に聲掛りの起つたのを奇貨とし大阪市南區空堀町銅鐵商保井松三(四七)氏に對しこの機會にうまくやれば常磐炭礦地方で金儲けが出來る、數年間に必ず巨萬の富を得て歸ると言葉巧にとり入り數千圓の資金を引出し本年一月大阪市南區空堀町安井商店を本店なりと稱し前記の場所に海軍工廠御用達江尻七三郎商店の看板を揭げて堂々たる店舗を設けてゐたもので實は二束く三文の品を數千圓の價値ありと惡どい儲けをしてゐた稀大の大詐欺師で、安井氏方だけでも被害一萬餘圓に達し取調の結果三月廿五日松原町古物商佐々木元堅氏方から五千五百圓で買つた二哩三分のレールを擔保として七十七銀行平支店から二千圓を借り現品が自己の倉庫にあつたのを奇貨として內二百圓を六百圓で磯原町丸新炭礦に竇飛ばし銀行員の眼を晦ましつゝ更に殘品を二重賣すべく各方面へ交涉中であつたと自供した、取調の進むにつれ相當多額の被害に上るらしく注目されてゐる

前身は請負ゴロ

湯本町議戰終幕
當選者十八名決る
入山は全獲

湯本町會議員の選擧は既報の如く去る十二日執行定員十八名に對し三十名の候補者がまん字巴の大激戰を演じたが總投票數は二千七百八票、乘權百十三票、無効四十七票で乘權率僅かに四分といふ好成績を示した、當選者は左の如く入山炭礦が擁立した六名は全獲當選である

一九一　小山　田滋
一八五　須藤　熊雄
一七八　若松　修一
一七二　鰀岡　愿道
一五四　松繁　庄一
一四七　大井川正己
一四六　矢吹　莊司
一四二　比佐　源造
一二七　比佐　賢司
一一九　渡邊　長作
一〇四　熊澤　誠三
九二　大和田主馬造
八九　鰀岡　賢司
七六　庄司卜源吉
七三　比佐彦太郎
七三　高本　晃
六九　矢內藤太郎
六五　高萩佐久馬
（次點）六〇片寄金作、五八高木巳之吉、五四渡邊一彌、四八大木慶三、四四阿部喜佐松、四三大橋正、三七高木寧男、三一會田宮治、二三熊上作馬、二二熊田文治、二〇飯淵喜一郎、四松崎澤吉

飛ぶよ自轉車！
用達先を走り廻る
昨日の競走會壯觀
▽……一等は四十六分

既報平市自轉車商組合の市制祝賀自轉車用達競走會は昨十三日午後二時參加者五十名が市役所前を一齊にスタートしたが用達先は平橋北詰、南町日の丸モーター店、白銀町千代電鍍工場、堂ノ前竹俣ブリキ店、舊平雞役場田町福壽軒、新川町橋屋製菓店、掘樋小路武藏鐵工場、月見町丸八建具店二丁目大村屋、小太郎町佐藤忠助氏前、紺屋町平子サンソ工業所、鎌田町

悲運の老爺
路上に倒る
一靑年が救助

湯本町三函東京朝日新聞販賣店員牧谷貞藏(三六)同食肉商須藤靜夫(二八)の兩君は去る十一日午後三時頃同町內で路上に倒れ苦悶中の老爺を發見救助したが二靑年は痛く同情太田老を早速自動車で停車場に送り仙臺迄の汽車賃二圓三十錢を與へて旅立せたといふ、平署もこの奇篤な行爲に感じ縣に表彰方を具申した

ロハ飲求刑　既報無錢飲食を働いた前科二犯のルンペン豊間村鹽屋生れ佐藤勝正(三七)に係る詐欺事件は今十四日午前十時から平區で野木判事係り石合檢事立會の下に開延されたが檢事から懲役十ケ月を求刑された判決言渡しは明十五日午前九時

四倉町の上水道
八月一日から通水

昨年八月總工費十四萬二千五百圓を投じ着工した四倉町上水道工事は既に貯水池淨水池間の配水塔も竣工、目下町內配水管埋沒工事中で大體八月一日から開通する運びになつたが

同上水道は第一期八千名、第二期一萬名に給水、同町々有林から芳の澤、栗木澤兩渕港に至る延長七百十八米の通水隧道で結び栗木澤の山峽には延長二百米貯水量五萬立方米の堰堤を建設して旱天時にも六十六日間は完全に全町民に給水する設備あり是等は總べて自然流下式によるなど全國でも有數な新設備が施されて居り從來水饑饉に惱まされてた全町民は潤されるわけである

ルンペン風の漂流屍体
身許が判らぬ
一先づ假埋葬

今十四日朝八時頃小名濱町海岸に漂流して居る變死體を附近民が發見屆出たので直ちに平署で檢視したがルンペン風の男で身許其他一切不明、小名濱町役場で假埋葬した

女給に迷つた
―少年起訴さる

既報カフエーの女給に現つを抜かし遊興費に窮し

兩軍共に不振
中等校の競技會

既報濟通り中等學校の陸上競技大會は昨十三日午前八時半から双中グラウンドに開催されたが順位は左の如く地元兩軍不振であつた

1双中　2相中　3平商　4磐中

寵修繕詐欺

求刑通りの懲役

既報管の修繕を口實に二百餘圓を騙取した宮城縣登米郡米谷町生れ目下住居不定前科二犯左官長澤松吉(四〇)に係る詐欺事件の公判は今十四日午前十一時から平區に開延されたが野木判事から石合檢事の求刑通り懲役一年六ケ月の判決を言渡され直ちに服罪した

磐中が惜敗

對磐炭の野球戰は昨十三日午後一時から高月球場に擧行六對五で磐中惜敗

大人氣の大衆野球
觀衆の興味百%
士氣大いに振ふ

既報體協石城支部主催郡下一般大衆軟式野球大會平方部豫選は昨十三日午前八時半から平商、平第一兩球場に開催されたが戰績は左の如く勝殘つた

平遞友對古河炭礦、平發電所對平櫻畔の準決勝及び決勝戰は來る十九日午後一時から平第一球場で擧行する事になつた

△平商球場
（一回戰）
級球友4―8隅田川
櫻　畔8―6平車掌
發電所6―1級　クラブ
（二回戰）
櫻　畔4―2平OB
發電所10―0隅田川
（三回戰）
櫻　畔2―1平　パワー
△平第一球場
（一回戰）
平　窪2―13平遞友
古　河6―1級
ノンキ5―6平校友
（二回戰）
平遞友11―3平櫂內
古　河8―5平校友

本紙々面擴張
四頁制斷行
大型機械を新設し
既に準備は成る！
市制とタイアップして
大飛躍の本社計劃發表

鄕土新聞はその地方文化の代表機關である。此の見地に基き今や市制實施の進展を見たる平市の鄕土紙たる本紙は市勢の軌道に順應せんが爲め紙面を現在の二倍大に擴張して近く四頁制を斷行する。

既に本社の姉妹機關たる常磐毎日印刷株式會社は十六頁の大型印刷機の据付を了し、その精能を發揮せんと正に待機の姿勢を取つて居る。

斷然舊套を脫して飛躍する本紙が如何に新市民たる愛讀者各位の好伴侶であらうかを御期待載き度ひと同時に、此の發展を見るに至る間の各位の甚大な御援助を衷心より深謝します。

常磐毎日新聞社

屋店員郡邦雄君が獲得、入賞者左の如し

1四六分二十秒郡邦雄
2猪狩好弘3相澤康雄
4菊地一郎5村山光6
片寄儀衛7山野邊直衛
8松村榮一郎9塚下菊次10田卷重三

除隊兵
四君歸鄕

第十九師團步兵第七十六聯隊兵の長橋町龜岡貞雄君は本日午後三時十七分着で歸鄕、左記三君も明十五日午後四時四十分平着で歸ると

中平窪　小室　正行
中鹽　鈴木　勝榮
上平窪　草野　源吉

磐中海軍講演

磐中は今十四日午前八時から橫須賀海軍人事部海軍機關中佐木村隙一郎氏の講演會を催した

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平市南町一六（電話一七〇番）

初夏とカメラ
紺碧の空
パラソル舞ふ
海へ、山へ！

▽……カメラのお支度は
東鄕製
メイコーカメラ
メイスピーカメラ
を！
少年練習用一組二十錢、三十錢のカメラもあります。
平市驛前銀座通り
いづみや**カメラ部**

吸入用酸素
純度99%
體温計
計量器
寒暖計
マス
ハカリ
メートル
テルモ
開內藥局
電話四〇番
◎寫眞材料一式販賣致シマス
吸入器
秤ノ取緒●垂糸●修繕致シマス

ラヂオ
今晩の部
JOHK

▼後六、三〇　子供の時間　連續童話劇「海の子供たち」「ハイカラな黒ん坊」BKコドモ會
▼後七、三〇　講演「滿洲農村の將來と本邦農業」農學博士那須皓
▼後八、〇〇　時報ニュース　明日の話題　產業メモ
明日の部
▼前一〇、三〇　婦人講座　手輕な生花「實用の投入花」勅使河原蒼風
▼前一一、〇〇　幼兒の時間　お話「俵藤太」杉山よね
▼後〇、〇五　新日本音樂　平井美奈子
▼後〇、三〇　國民歌謠　平非英子、ルナコーラ
▼後二、〇〇　小學生尋五の時間　ラヂオ寫方發表會「動植物の飼育栽培」桑原正昭他、秋田東京、濱松、鳥取、廣島、宮崎
▼後二、三〇　婦人の時間「婦人と疲勞」正井保良
▼後四、二〇　大相撲大阪場所…大阪大國技館中繼
▼後六、〇〇　國史連絡講演「大名の話」高柳斧藏
▼後六、三〇　ラヂオスクッチ「鵜飼見物」名古屋
童話劇團
▼後七、三〇　謠曲「雲取山」喜多六平太他
▼後八、一〇　混聲合唱
▼後八、三〇　落語「仙まつり」三遊亭金馬
▼後九、〇〇　ラヂオ臨錄「無駄の辨」戸川秋骨「魚の話」田中茂穗

白柄劍風連
大島多慶夫作
井川洗涯畫
（朝日讀賣毎日聯合小說）
布施長春書
村瀨登映畫

……一七六……

別　離　（十三）

五左衛門は暫く書きながら受取つて見て、資金であるといふことが解つたのであつた。

「飛脚百傳」それは使命を果されるについての路用ぢや」

「そして、その使命といふのは……？」

「待たれい。壁に耳がある」

と、源太は注意ぶかく四方に眼を配つて見廻したが、何人も其の近くにはゐないことを見屆ましてから少し聲を落した。

「ほかのことではないが、藩命を公儀の隱密として飛脚殺しの探索へやうとの事實ぢや」

「うむ」

「それは又無茶に……？」

「紀伊大納言樣は太藏公分のために御家騷動の遠因を醸出した張本人として居られるといふことを探てから聞き及んで居るから」

と、五左衛門は答へながら、組んでゐた腕の組を解に居直り、油斷なく相手の動靜に注意をした。

源太は聞くうちで、この男はまだ知つてゐる事を隱してゐるなと思へた。

「なるほど、藩命は紀伊大納言樣が裏にして太藏公分の上から御家騷動を收拾して居られるものと聞いて居られるのか」

「折角の御使命ではござるが、紀州藩への隱密は平に御斷りいたしたい」

「それは又無茶に……？」

「紀伊大納言樣は太藏公分のために御家騷動の遠因を醸出した張本人として居られるといふことを探てから聞き及んで居るから」

と、五左衛門は答へながら、組んでゐた腕の組を解に居直り、油斷なく相手の動靜に注意をした。

源太は聞くうちで、この男はまだ知つてゐる事を隱してゐるなと思へた。

「なるほど、藩命は紀伊大納言樣が裏にして太藏公分の上から御家騷動を收拾して居られるものと聞いて居られるのか」

「それはひそかに御存じであらうが、紀州藩への隱密は平に御斷りいたしたい」

「いや。大した事ではござらぬ。ひそかに御存じの通り、紀伊大納言樣は太藏公分の陰謀で、藩士の二派に分れて爭つてゐるが、つまりは二派共を呑んで御家騷動を收拾しようとの御意向ぢや」

「何。御身は敵と聞かされるのか」

と、五左衛門は眼に怒りの色を浮べた。

しかし、直に五左衛門の眼前にピンと鋒で突刺したやうに思いたものは、紀伊大納言は御家騷動の不始末であることを認識の上で、ひそかに御建の重臣と策謀してゐるといふ事を聞いてゐるので、幕府御直參からの目付に對しての使命は、紀州家の騷動を鎭めるためであらう。御家騷動を鎭歌してゐる自分が、それを鎭壓してゐる藩士の陰謀となることはいかにも合理に合はない不審の點である、と考へたのであつた。

「さうだ、俺にはそんなことは知らぬ、來るものぢやない」

と、五左衛門は振り首のやうに呟いた。

源太は五左衛門の呟きを聞いた。そして、强くその眼を見つめた。

「御氣遣でもござるかな」

お買物常識

罐詰の見分け方

素人も手輕にわかる

これから段々暑さにむかふので、どちらの御家庭でも御客樣の折、また、御夫婦や戀愛へお出でになるがも御携帶の辨當物には憚まされるものですが、その時には罐詰に富み、且つごく簡便な調理を御覽いたします。そこでどなたもすぐわかる罐詰類の見分け方をお知らせいたしませう

外罐　がきれいで店さらしでないもの、罐の外觀が罐のきれいでサビてゐないものをおえらびください

脫氣孔　のないもの、もしあつても一つのもの、新式の罐詰はつくられた罐詰は罐の蓋または底にハンダ鑞でふさいだ孔のあとは見あたりませんが、舊式の製造法によつてつくられた罐詰には脫氣孔のあとがあります、しかしそれは一つにかぎります、二つあるのはいけません、たゞ例外として牛罐詰で、滾汁注入のために二つ、鰯のために一つ、都合三つの孔のあとのある罐詰があります、これは舊式な機械で小規模にやつてゐる製造所の製品です

罐の蓋　が引締り凹んでゐないもの

罐詰は完全加熱して中の空氣を追ひ出してあるものですから、冷めても空氣に觸れない限り決して腐敗しません、しかし一度罐を開けますと、空氣が入りますから、なるべく早く召上つてください

洋食の飲物は科學的です

葡萄酒、シャンパン、珈琲

日本　では食事の時の飲み物を正しい意味で全然、無關心に考へられてをりませんが、外國ではその關係非常に重要ある用ひ方をしてゐます、西洋料理では食事の時に白、赤葡萄酒、シャンパンの順序で用ひられてゐますが、これが一つ一つ理由があるのです

次に　○肉料理からサラド、お菓子の出るまで赤葡萄酒が出ます、赤葡萄酒は種子も皮も一緒して、葡の中で醱酵させるので酸味、甘味、澁味が出てゐますがこの澁味が肉の時によく合ふのです、つまり脂肪分の多い肉の時に赤葡萄酒を飲むと肉の中がネチヤ〳〵するのを澁いものを用ひられば舌がさつぱりぬぐはれるのです

最初　○魚料理の時、綺麗な色のコップに白葡萄酒を用ひます、白葡萄酒は殆ど澁味がありません、このオリがないので珍重しないのです、しかしオリが見えては感じがわるいので葡萄酒が濁つてゐるとか申しますがこれはどういふ訳かと申しますと魚が濁つてゐるのです、魚の中には澁味が多いと云つても寄生蟲がゐるわけでもなく、魚といふ病氣があるのでもありません、一般に酸性體質の子供を魚がつよいと醱酵するので、かう云ふ子供は、人みしりをするとか、物に驚る、好き嫌ひがはげしいなどの共通性をもつてゐます、さうしてその體質のものは神經性體質といつて、ちよつとしたことにもひきつけて親をあわてさせます、既はまた病氣でなくても興奮を過ぎると疲勞して癪をおこすものもあります

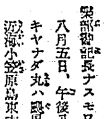
靜かに　○赤葡萄酒は必ず室温にしてやります、夏の場合は冷藏庫の中に入れておきますが、冷やし過ぎてはいけません、冷やし過ぎると味がにぶくなります、冬の場合は、室温で十分です、赤葡萄酒は必ず靜かに注ぎます、瓶の底の濁つた部分は除いて注ぎます、瓶の底の濁つた時に注ぐと折角の味が台なしになります、瓶を振つたり、ゆすつたりしてはいけません、瓶の口を布巾で拭いて、手早く靜かに注ぎます

神經質　○赤葡萄酒は室温にしてやります、夏の場合は冷藏庫の中に入れておきますが、冷やし過ぎてはいけません、冷やし過ぎると味がにぶくなります、冬の場合は、室温で十分です、赤葡萄酒は必ず靜かに注ぎます、瓶の底の濁つた部分は除いて注ぎます、瓶の底の濁つた時に注ぐと折角の味が台なしになります、瓶を振つたり、ゆすつたりしてはいけません、瓶の口を布巾で拭いて、手早く靜かに注ぎます

優良罐詰　には日本罐詰協會の推奨マークがはつてありますから、これの有無をたしかめることが安心の出來る近道です、また良い品物をつくる罐詰家は、決して自分を誇大化やうなことをいたしませんからよい罐詰は、どれも同じに一杯つまつてをります、お買ひになる時には此上の振柄によつて選擇なさつてください

電球を長もち　さすには

主婦の手帳



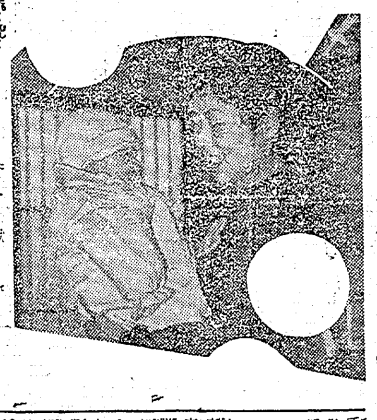
電球はそつとしておくほど長持するものです、電球のカサにパン〳〵チリはらをかけるのは禁物です、ちよつとついでにはたきをかけたいものですが、あれはふくときに拭きとります、そして時折アルコールかキハク水をつけた布でふきますといつもきれいになつつてをります、電球にもなか〳〵ゴミがつきますから、かわいた布でときどきふいておきませんと暗くなるものです

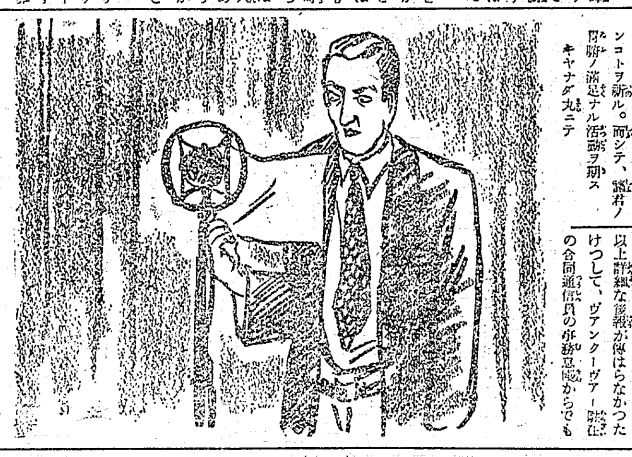
家庭法律

病氣と離婚

夫婦の一方が不治の病氣になつたとき離婚は出來ないでせうか勿論夫婦は相愛の上ならばいつでも離婚に離婚が出來ますが、一方が承知しないときは離婚の訴へを起しても離婚の訴訟にならなければなりません、ところがこの訴へをおこす場合には必ず法律の定めた離婚の原因がなければなりませんが、病氣も離婚の原因の中に入つてゐますから、たとひ不治の病氣であつても離婚は出來ません、なる程一方が病氣になつたからといつて離婚するのは人情ではありますまい、しかし差當り夫婦たる義務は相互間もない夫婦たるに離婚をゆるさぬといふことは、かへつて人情に反するばかりでなく、病氣の治療にも支障を來すことがあるとか、經濟的のまもる等の

玩具屋





アーサー・ビュル

支那人ワイソルは、さつそくそれを、桑ヴアンクーヴアー市民の心臟K・M倶樂部副部長ナスモワへ電話した。

副部長ナスモワは、きちようめんに、夫を傭へ附の看護婦に變め「娘子るにビュル氏の『惡戲さ』ナスモワは、『惡だらけの船を張めて、驚愕した。

ところが、それから一週間目に支那人ワイソルは、さつそくそれを、桑ヴアンクーヴアー市民の心臟K・M倶樂部副部長ナスモワへ電話した。

副部長ナスモワは、きちようめんに、夫をK・M倶樂部副部長ナスモワへ電話した。

八月五日、午後八時四十五分キヤナダ丸は、屬ニ到着シ日本沿岸小笠原島東方六十哩ノ地點ニテ發セリ

この報告も、もちろんキヤナダ丸無線のビュルの發信にちがひなかつた。

『はてな、これを聞するにビュル氏の惡戲かな』

と思いたものゝ、かれは心中はなはだ狼狽してゐた。

まもなく、古風な船キヤナ

娘常識　どんな方が好かれるか

○お客樣など二人づれをあるいてゐる時、向ふから知人が來たとします、その人と手をかはさねばならぬとおもつたら「すみません」と連れのお客樣に挨拶していてから、話し出すものです、それをお友達へは何んとも挨拶もず連れの子供が出來上るのですから、充分に注意が大切であります

○もう一つ、歩道を行く時、先方から知人の甲、乙と云ふ人と來るとします、歩く時は下を通りすぎるやうな姿勢で、甲、乙に近い挨拶をして作法に適ふ姿をとります、若い人にしたことですが、これは一寸したことですが、若い人の嗜しなみ一つで、擦手の時、歩く姿勢が美しくなるものです

○……もう一つ、歩道を行く時、先方から知人の甲、乙と云ふ人と來るとします、歩く時は下を通りすぎるやうな姿勢で、甲、乙に近い挨拶をして作法に適ふ姿をとります、若い人にしたことですが、これは一寸したことですが、若い人の嗜しなみ一つで、擦手の時、歩く姿勢が美しくなるものです

年寄りつ子は……

なぜ三文やすい？

小供の「虫」は親の責任

手數をします

ひきつけた時には、あわてゝ大變で呼んだり醫に水をかけたりせず着物をゆるめて靜かせくわん腹をしてやります

靜かにしてゐて、意識の回復して來ます、もし回復せぬ場合は、脈なるひきつけではなく、癪を起してゐるものと考へられますから、早速醫師をむかへて手當をせねばなりません、かんの起つた時の處置の如何によつて、その子供が一生癲癇のひとに、子供は癪持ちになる場合には、脈の弱い時は除に起しますが、乳臭の弱い時は除に起しますから、癪の原因を探つて手當を注意を要します、癪の發作は三文やすいなどゝ云ひますが、老人は驚りに氣がつきやすいので、ある場合には一寸した刺戟でも發作したりして氣のあるこゝろもちますが、その老人の心がわるい方面に働くと子供の

神經質　を增惡させたりする誘因となります、夜中に子供に驚かせたり、老人はもつと氣をつけてやりたいものです

靜かに　○赤葡萄酒は室温にしてやります、夏の場合は冷藏庫の中に入れておきますが、冷やし過ぎてはいけません、冷やし過ぎると味がにぶくなります、冬の場合は、室温で十分です、赤葡萄酒は必ず靜かに注ぎます、瓶の底の濁つた部分は除いて注ぎます、瓶の底の濁つた時に注ぐと折角の味が台なしになります、瓶を振つたり、ゆすつたりしてはいけません、瓶の口を布巾で拭いて、手早く靜かに注ぎます

護れ太平洋の渡

寺島征史（一七六）……旭村村會議員

……旭村村會議員

正覺坊（二）

ビュルは、瞬時部をみつめた。五時二十分二十秒……。

『よろしい、破ちなさい』

艇は、獨モを破壊に吹かしながら勇ましく飛んだ。

無電機第四號は、正確に、キヤナダ丸通信員シェル爺さんの報告を、ヴアンクーヴアー市の、北太平洋無線電氣株式會社上の機會へ傳つた。

支那人ワイソルの受取つたビュルからの通信文は次のやうなものであつた。

ヴアンクーヴアー市民諸君

七月二十九日、午前五時二十五分二十秒ニ、キヤナダ丸甲板ヨリ、遙ニ離レ行ノ風景ノ正確ナランコトヲ願ル。而シテ、諸君ノ關心ノ焦點ナル活劇ヲ期スキヤナダ丸ニテ

英國では氣候が荒いので荒海が出來ないため罐詰のビールの代りにビールの香味を代用してゐます

お菓子　○子が出るとうるさいものです、お菓子は、ランプでは、ランプの消煙は、ランプの消煙は、ランプの消煙は